

モルモットを用いた口腔粘膜刺激性試験

要 約

松節の松康泉を検体として、モルモットを用いた口腔粘膜刺激性試験を行った。

検体3個分のカプセル及び内容物に注射用水を加え、約37℃で72時間加温して試験液を調製した。試験動物の口腔内に試験液を約2時間ごとに1日3回、4日間連続で適用した。最終適用後1及び5日に口腔内を肉眼的に観察したところ、異常は見られなかった。

以上のことから、本試験条件下では、試験液はモルモットの口腔粘膜に対し刺激性を示さないものと考えられた。

依頼者

株式会社 徳潤

検 体

松節の松康泉

試験実施期間

平成19年04月20日～平成19年05月14日

試験実施場所

財団法人 日本食品分析センター 多摩研究所
東京都多摩市永山6丁目11番10号

試験責任者

財団法人 日本食品分析センター 多摩研究所
安全性試験部 安全性試験課
嶋崎 智子

試験実施者

永井 武 , 川本 康晴 , 小澤 美来 , 鈴木 美そら